

SOWER

特集 戦後50年—戦争と聖書



ソア=種まく人
No.6
June 1995
財団法人
日本聖書協会



神のことば
すべての人の
希望

聖書 新共同訳

親しみやすく 格調の高い 最新の翻訳

いつでも、どこにでも持つて行ける
ハーフボリュームバイブル
登場！

ハーフボリュームバイブルの特徴

- 1 重さ、厚さを半減したハンディサイズ。
- 2 現行聖書の2ページを1ページに収めた
ダブルページ版。
- 3 旧新約聖書としては初めての横組採用。
- 4 いっそう親しみやすくなった
ブックデザイン。
- 5 旧新約聖書の中で最も
低価格。



大好評発売中！

中型聖書

目録番号 NI34HV
定価 2,200円(税込)
表紙 B6判、ビニール表、軟表紙、
ジャケット掛け

* 旧約聖書続編つき (NI34DCHV 定価2,600円) は
1995年11月1日発売予定です。

現行聖書との比較

品名 目録番号	ハーフボリュームバイブル NI34HV	中型聖書 NI53
頁数	1,040ページ	2,066ページ
重さ	500グラム	900グラム
厚さ	25ミリ	49ミリ

- ご注文はお近くのキリスト教専門書店、または全国の書店へ
(直接当協会にご注文戴く場合、別途に荷造送料がかかります)
- カタログ請求、お問い合わせは下記まで

財団法人 日本聖書協会

〒104 東京都中央区銀座4-5-1
電話 03-3567-1987 (ダイヤルイン) FAX. 03-3567-4436

- 特集…座談会
2 戦後50年—戦争と聖書
- 10 特集…インタビュー
戦災、弾圧を乗り越えて 外村民彦
- 12 エッセー⑥
本田哲郎「阪神大震災」
- 14 INTERVIEW
加賀乙彦さん
- 16 BSレポート 国内／海外
- 17 総主事室 佐藤邦宏
- 18 PEOPLE
WELCOME TO EPOPEE
- 19 読者のひろば
- 20 歴史接写
コルポーターの1日 伸井一雄
- 21 聖書図書館蔵書シリーズ—❶
ルター訳「ドイツ語聖書」



神は、その独り子をお与えになつたほどに、世を愛された。
独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

(ヨハネによる福音書3章16節)

山谷新子
日本キリスト教婦人協議会会長

はじめて聖書を学んだ頃、聖書の中心のことばだと教えられた聖句です。さまざまな困難の中でも、この世が混沌ではなく、神の愛の支配が貫かれていることに、新しい力と希望を与えられます。

新⑥聖書の世界

写真／文 横山匡



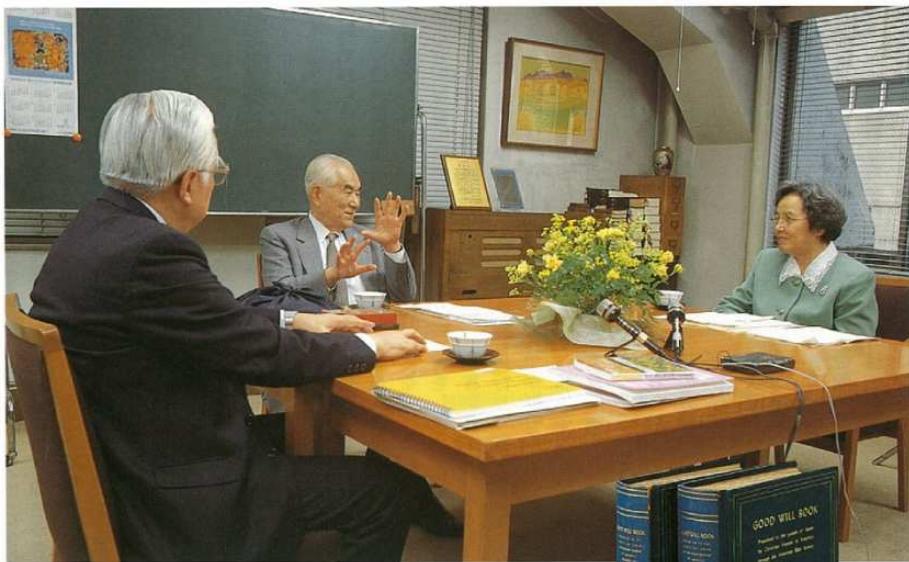
「氣高い乙女よ…高く起こした頭はカルメルの山。長い紫の髪、王はその房のとりこになった。」と雅歌に歌わされているカルメル山は、地中海を見下す海拔五百メートルほどの連山です。カルメルとは「神のアドウ園」という意味で、雨もよく降り、多くの種類の草花が観察できることでも有名です。背後に見えるのはカルメル会修道院です。この教会の中には、預言者エリヤとエリシヤが居たと伝えられる洞窟があります。教会の東側の展望所からは、美しいハイファの港町を一望することができます。ここから西に下った山腹には「エリヤの洞窟」があり、エリヤが弟子たちを養成した預言者学校だと信じられています。

*雅歌7章6節

美のシンボル
カルメル山

特集 座談会

戰後



GOOD WILL BOOK

終戦直後、雲南坂教会で開かれた日米協議会の席上、賀川豊彦は慰問親善使節団長のホルトン博士に戦後の日本伝道のために、250万冊の聖書を送ってほしいと叫んだ。ホルトン博士は喜んで快く承諾した。米国は、米国聖書協会が中心となり、敗戦の日本人の心の糧として、聖書1千万冊を日本に贈る運動を行い、3万8千名の各市民が運動に参加した。

佐藤 日本の聖書に関する議論をして、戦争がまもなく終わるであろう。終わったときに自分たちは何をすべきか、と戦争が終わった後の日本の宣教を非常に熱心に心がけていた。私はそれを読んだとき非常に感心しました。だからそういう戦後に於ける伝道の一環としても、今おつしやられたような聖書の印刷、颁布というのが非常に大きな問題として考えられていると思いますね。

50年—戦争と聖書

1945年8月15日—15年にわたる長い戦争は終わった。爾来50年、人々は、悲しみを乗り越え、新しく生きる希望に支えられ、嘗々と今日の世界を築きあげてきた。…平和を実現する人々は、幸いである。(マタイ5.9)
極限の状況で、聖書は人間に何を与え、どう読まれてきたのか。
平和への祈りを込め、この特集をお届けする。

●出席者(敬称略) 隅谷三喜男 江尻美穂子 司会 佐藤邦宏
日本学士院会員 津田塾大学教授 日本書協会総主事

佐藤 一つの例として、これはアメリカで出版されたものですが、日本との戦争の最中に日本語聖書を一九四三年、アメリカ聖書協会の図書館にあつた日本語聖書の写真版で一万五千部印刷したという記録があります。これは強制キャンプに収容されていた日本人に贈られたそうです。キャンプに収容されるという異常事態の中で、キャンプから出て行く人たちにこれを再建の支柱にしてほしいと願つた人たちがいる、ということを知つていただきたい。それからこれはすべての価値を失つた、絶望の中にいる日本人に贈られた聖書です。これはアメリカだけじゃなく、イギリスや他の国も参加しています。一説には約700

敗戦の日本へ贈られた聖書

百万冊も戦後の日本へ贈られたと言わわれております。これらは、戦争の中で絶望してどん底にいる人々に、なんとしても希望を与えたい、人間として回復してもらいたい、人間らしく生きてもらいたいという願いが、聖書を贈呈するという形で現れたのです。これもひとつ歴史の一こまではないかと思いまして戦争の中でもそういうことを思った人がいるということを報告したいと思うんです。

隅谷 私がアメリカにおりましたときに見たのですが、ミッショナリーボードとか、日本で宣教していた人々が戦争の時に送り返されましたね。その人たちがどうしていたかという記録がありまして、戦争をしている最中に会議

佐藤　いま世界的にも紛争や困難な地域、戦争が依然として存在しているわけです。例えばボスニア・ヘルツエゴビナ、その他の紛争地域があります。レバノンでたいへん長い間紛争がありましたのが、あの中で聖書翻訳事業が行われました。砲弾の中を駆け回つて聖書を届けていたというのを聞いていましたが昨年、Today's Arabic Versionという非常に優れた翻訳をレバノン聖書協会が十三年かけて完成了しました。このように非常に悲惨な中でも聖書は生きているという事実はいくつかあります。

民になつた人たちも国を再建しなくてはならない。その時に何が必要かというと、いろいろなものがあるが、その中には聖書がある。」
「ということを言っておられるんです。私たちは聖書をお届けするという立場から、異常事態、困難の中で聖書がどういう意味をもつてゐるか、どういう意味をもつべきなのか、また、どういう読み方をすべきなのか、今日はその辺をお伺いいたしたいと思うんです。
「今年は第二次大戦が終わりまして五十年になります。我々がかつて経験した異常事態の中で、聖書をどう扱つてきたかいろいろ触れながらお話を伺いしたいと思います。

江尻 私もアメリカから贈られたというその中からそういうことを考えていました。聖書はもらったんだか、買ったんだかもう忘れましたが、大変なつかしい。私など戦争中で子供が軍医で出征したので、クリスチヤンの叔母が子供を連れて実家である私の家に帰つてきていたのです。子供たちを全部集めまして、一緒に讃美歌を歌い、聖書は文語訳を使って、家庭礼拝をしていました。

のかなあ、と今になつて思うわけですよ。

戦後どつと教会に人が多くなつて聖書も随分読まれたと思うし、学生たちにも聖書がたくさん配られて多く読まれたようですが、現在まだんだん教会がさびてきてると言われています。聖書の生きる力は、私たちの生きる原点で、根本のところで関わつたのか、あるいは一つの文化的なものとして読

まれていたのか、また戦争という異常事態、つまり現実と聖書がどう関わつてきたのか、ということを伺いたいのです。聖書をいかに読むかは、これから課題と思うんです。

閑谷先生が『人間の条件』(五味川純平著)という小説の中で、主人公梶のモデルであることをだいぶ前に読みました。そのあたりも先生からお伺いしたいんですけど。

聖書に生きるとは——戦争の中で

閑谷 学校を卒業してすぐ中国へ行こうと思った基本的な点は、聖書を読んで、キリストが見捨てられた人たちの友となつたということがあります。聖書の中では偉い人はいない。イエス様はハンセン氏病の人とか寡婦とか、そういつた人たちの中に入つて行つたる。私はキリスト教を信じた以上は、そういう人たちの中に入るべきじゃないかなあ、といふものですから純情に考えて、それで学校を卒業したときに、中国人労働者が底辺的な存在じやないかと考え、出かけたのです。

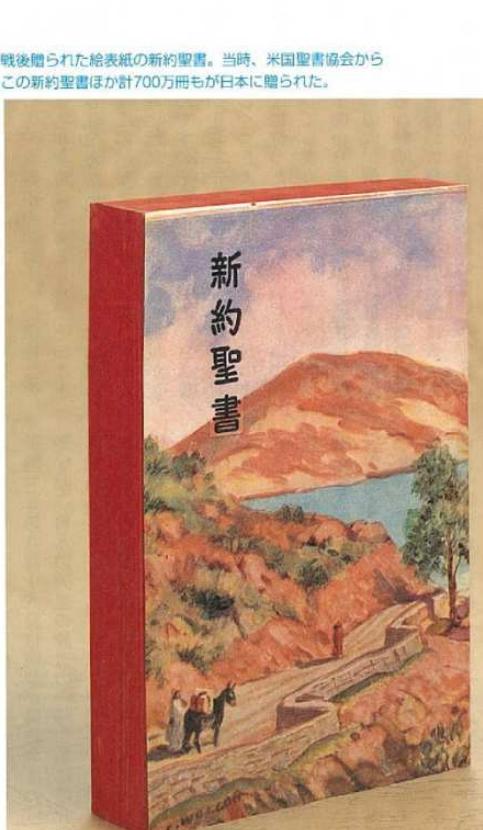
その中に入ろうと思つたもう一つの聖書的な基盤は、キリストが十字架を背負つてゴルゴダの丘をヨロヨロと上がつてゆくときに、だいぶいじめられて弱ついていたわけでしようけど、たまたまシモンという青年が通りかかり、兵隊がイエスの代わりに十字架を背負え、といって十字架を背負わせたわけですね。そうするとわたしもキリストにあつて、自分が

希望するとかでなくて、十字架を背負わされ歩むことに意味があるかなあ、とそういう夢をもつたんですね。だから何かそうしたことをしようとした。私はそういうのもみんな聖書から学んだのです。そういうことで中国に行つて労働者の中に入つたというところまでが梶のモデルなんです。

私は中国に行きますとすぐに労働問題が大変な問題だと思ったので、少し勉強しましたら、その五味川君、彼は雑誌の編集をしていましたが、ひとと書きと言われましてね、満州の労働問題についてかなり長い論文を書きました。当時労働問題が大変難しい問題になつてきて、その論文のお陰で私は兵隊に採られないので終わりました。

佐藤 そうですか。私はもちろん兵役の経験はありませんが、よく聞く話に、例えば軍隊に行つたら聖書を取り上げられたとか、そのためにひどい目にあつたとか。

もちろん先生のお気持の土台の中にはそういうことがあつたわけだし、一方、江尻先生のお話では聖書を中心に家族が集まつているという話を、相当周りの人から色眼鏡で見られて苦勞があつたんでしょうね。私どもの記録によりますと一九四五年、いわゆる敗戦の年ですが、売る聖書がなくなりまして一年間に二十三冊頒布したという記録が残っています。江尻 どういうふうにして聖書が家にあつたか分からんんですけど、叔父は二回戦に行きましたが、ひとと書きと言われましてね、満州には聖書は一冊じやなく、何冊かあつたと思います。戦争中でもまだ売れていたんでしょうね。子供聖書というのもあつたように思います。子供向けの旧約聖書の物語も戦争の最中に読みました。ですから聖書協会は紙の割当がなかつたかも知れないけれど、やつたと思ふんです。



戦後贈られた給表紙の新約聖書。当時、米国聖書協会からこの新約聖書ほか計700万冊ものが日本に贈られた。

今度は私たちの番だ——聖書を必要とする人々へ

佐藤 さつき先生が中国へお渡りになつた動機についてお伺いしたわけですが、それと戦争中のアメリカで、戦後の日本のために祈つたと。日本の場合ですけど、自分以外の人、あるいは自分以外の社会の困難のため

ぱりそういう出版物は何らかの形であつたんでしょうがね。ただ昭和十九（一九四四）年頃は空襲も激しくなり、もう家庭礼拝もしないなかつたと思うんですけど、学校でもキリスト教に反対することをいろいろ教えられてきてましたから、気持ちとしてはキリスト教から少し離れていたと思うんです。戦後、「アンクル・トムズ・キャビン」のトムという奴隸の生き方や、映画『天国の鍵』の中の神父の生き方に影響されて、中学に入つてものを考える時期に入つてきていたからでしょうかれど、聖書から慰めを得るという形ではなく、聖書を読んだらもつと立派な人間になれるんじゃないか、そういう所から入つて行つたんだと思うんです。

閑谷 私は引き揚げ者ですからね。リュックサックにごくわずかなものを入れて帰つてきましたが、本を二冊入れて、一つは聖書、もう一つは経済学の書。その聖書にはですね聖書の印刷の周りに余白があるんですが、そこにたくさん書き込みがあるんです。私はその聖書の言葉で感銘した所に、みな余白に書

き込んであるのです。ですからこの聖書は自分の信仰の歴史を反映しているものと思って、持つて帰つてきたんです。それは今でも持つております。

佐藤 それは貴重なものですね。

に、何かしようという動機のようなものといふのはどうでしょうか。例えば、東欧旧ソ連の場合は、体制崩壊という報道がありました。中国の革命後、とりわけ文化大革命時代、中国のクリスチヤンたちはものすごい悲惨な状況になりました。聖書を持つてるとみんな没収されます。紅衛兵がきて家宅捜索をしてキリスト教関係のものがあつたら全部焼いてしまいます。その時に私の友人などは、日本流に言えば脇の下に聖書を何とか隠し持つていた。

ためにひどい目にあつたとか。

戦争中も日本聖書協会はそういう意味ではその当時の世の中には受け入れられなかつた団体の一つです。すべての出版社が一つに統合された中で、用紙の割当なんかは最後には全くゼロになつてしまつたわけで、随分いろいろなことがあつたと聞いています。組織でもななことですから、まして個人の場合は大変だったと思うんです。

具体的に聖書に関わつて生きるというか、もちろん先生のお気持の土台の中にはそういうことがあつたわけだし、一方、江尻先生のお話では聖書を中心に家族が集まつているという話を、相当周りの人から色眼鏡で見られて苦勞があつたんでしょうね。私どもの記録によりますと一九四五年、いわゆる敗戦の年ですが、売る聖書がなくなりまして一年間に二十三冊頒布したという記録が残っています。江尻 どういうふうにして聖書が家にあつたか分からんんですけど、叔父は二回戦に行きましたが、ひとと書きと言われましてね、満州には聖書は一冊じやなく、何冊かあつたと思います。戦争中でもまだ売れていたんでしょうね。子供聖書というのもあつたようになります。子供向けの旧約聖書の物語も戦争の最中に読みました。ですから聖書協会は紙の割当がなかつたかも知れないけれど、やつたと思ふんです。

それでも見つかつたら大変です。見つかつたらたがれて、ひどい目にあうことが分かっていました。中国の教会全体がそういう状況で、文化大革命が終わったときには聖書はほとんどなかつたです。私は文化革命の終わつた後ころからぼつぼつ中国に旅行するようになつて、日曜日には教会へ行きましたが、聖書は本当になかつたですね。それに対して、南京の愛徳基金会で聖書の印刷をするということになつて、その印刷された聖書が中国の教会に少しづつ配られ、そこから中国の教会は非常に発展しました。ですから南京の愛徳基金会はなかなかよくやつたのですけど、追いつかんんですよ。そのころ中国の教会の礼拝に出て、そういう聖書がどれほど大切にされているかを非常に痛感いたしました。ですから愛徳基金会が印刷機械手に入れる

教会に少しづつ配られ、そこから中国の教会は非常に発展しました。ですから南京の愛徳基金会はなかなかよくやつたのですけど、追いつかんんですよ。そのころ中国の教会の礼拝に出て、そういう聖書がどれほど大切にされているかを非常に痛感いたしました。ですから愛徳基金会が印刷機械手に入れる

佐藤 八九年のイースターごろからですね横組の簡体字になりました。それまではおつしやるところでした。

隅谷 それでもですね、せっかく一生懸命印刷して教会員の需要に応じようとした努力、それに対して、世界中の教会や、聖書協会のようなどころが非常に協力をした。そのことはやっぱり私なんかも、もつと協力せねばいけんなあ、と痛感しました。

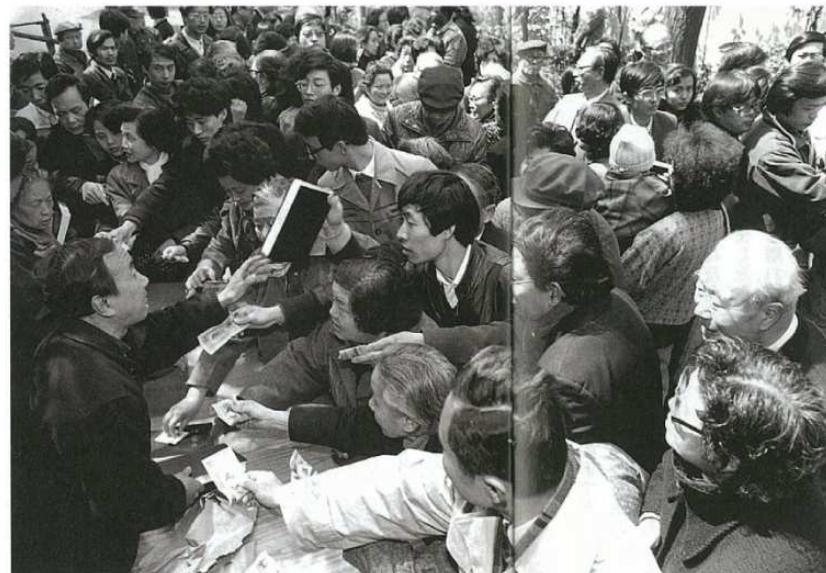
佐藤 九月には二台目の高速輪転の機械が新しく入るんです。そしてそれまでに、ちょうど操業開始から一千万冊目が達成する。だけど今おっしゃったように焼け石に水と言いますか、どこに行つたか分からぬくらいすつとなくなつてしまふ。足りないので。

隅谷 日本のキリスト教史を少し勉強しますと、労働者の人、例えば鉱山の労働者ですと、小学校にも行けず字が読めない。教会の路傍伝道の話を聞いて興味を持つて教会に入つてくるんですけど、聖書が読めないんですよ。

佐藤 つい最近台湾の台湾系の教会から入手したのですが、抗日戦のさ中、蒋介石が手をから聖書を暗記している人がいる。みんなに言葉で語つてそれを覚えて、そして暗記した聖書を読むことはできないけど、頭の中で聖書を読んでいた。そういう中で読まれた聖書はやはり非常に熱を帯びたものです。

佐藤 つい最近台湾の台湾系の教会から入手したのですが、抗日戦のさ中、蒋介石が手を入れた新約聖書の翻訳原稿の複刻版があります。戦後台湾の人たちと中国から台湾に流れてきた蒋介石軍とに、非常に政治的な問題がありました。それから当時中国にいた二百十万人が、東北部は別としてほんと無事に帰つてくることができました。この放送の中にかなり聖書の引用があるのです。それは歴史の事実として私たちには記憶にとどめておきたいと思います。

そういう混乱の中で私は聖書そのものが生きているというか、人間がどうしたっていう以前に、聖書自身が持つていてる力というのがある



読むたびに新しい発見

佐藤 そうするとさつき江尻先生が例えは聖書を読む時、一般的な話として聖書を読むと慰めになるからとか、立派な人になるからといふ感覺で読んでるようです。山本七平さんは日本人は新約聖書を「藁」聖書と薬でも飲むように聖書を読むと書いておりましたけど、どうなんでしょうね。読み方というか、一般的な話としていかがでしようか。

江尻 聖書っていうものが読む度に新しい力量っていうか、はつと思わせられるものを持ち、生きしていく上での力となるものであるということは、聖書を読む人たちがみんな感じてるんじゃないのかと思うんです。最初は教養のためとか、慰めを得るものであつても、人間が生きていく時の基盤を聖書には求められる

江尻 聖書っていうものが読む度に新しい力量っていうか、はつと思わせられるものを持ち、生きていく上での力となるものであるということは、聖書を読む人たちがみんな感じてるんじゃないのかと思うんです。最初は教養のためとか、慰めを得るものであつても、人間が生きていく時の基盤を聖書には求められる

江尻 一人一人のクリスチヤンがどういう生き方をしたかというのが、今おっしゃった中国の場合はどちらか、韓国の場合も事情は多少違いますけど、歴史に残つてゆくだろうと思いま

るんじやないかなつて気がするんですが。

隅谷 先ほど中国の話をされましたら、聖書なんか取られてしまつて悲惨な状況にあつたにもかかわらず、聖書の言葉に生かされて信仰を守り、そして文化革命が終わつた後、自由が来たときまで彼らが信仰をもち続けたといふことが、今の中国人のキリスト教に対する関心の根元にあると思いますね。今の中国人の人たちは革命後ただ一つの正しい思想と考えていた共産主義が崩れゆく。中国人の人たちは四十年教えられてきた原理が崩れて、どこに寄り頼むべきものがあるのかと迷つている時に、非常な苦難の中でクリスチヤンたちが自分の信仰というものを失わぬでいたこ

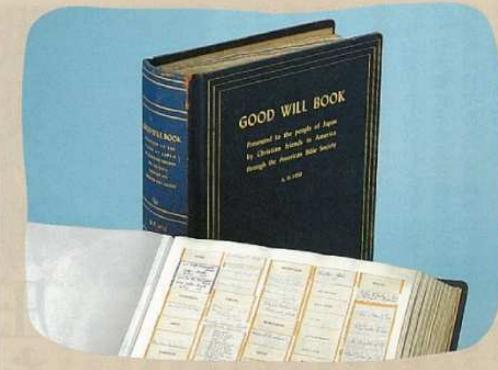
るんじやないかなつて気がするんですが。

隅谷 先ほど中国の話をされましたら、聖書なんか取られてしまつて悲惨な状況にあつたにもかかわらず、聖書の言葉に生かされて信仰を守り、そして文化革命が終わつた後、自由が来たときまで彼らが信仰をもち続けたといふことが、今の中国人のキリスト教に対する関心の根元にあると思いますね。今の中国人の人たちは革命後ただ一つの正しい思想と考えていた共産主義が崩れゆく。中国人の人たちは四十年教えられてきた原理が崩れて、どこに寄り頼むべきものがあるのかと迷つてい

るんじやないかなつて気がするんですが。

隅谷 先ほど中国の話をされましたら、聖書なんか取られてしまつて悲惨な状況にあつたにもかかわらず、聖書の言葉に生かされて信仰を守り、そして文化革命が終わつた後、自由が来たときまで彼らが信仰をもち続けたといふことが、今の中国人のキリスト教に対する関心の根元にあると思いますね。今の中国人の人たちは革命後ただ一つの正しい思想と考えていた共産主義が崩れゆく。中国人の人たちは四十年教えられてきた原理が崩れて、どこに寄り頼むべきものがあるのかと迷つてい

GOOD WILL BOOK



マツカーサー元帥
十二月二十六日
「曰米友好署名帳
された。式には教会
理の副總理、議長などが
てしている。また翌
お見せしている。
のグッドウイル。
革装で、一冊三十
マッカーサー元帥
のサインのペー
各教会の代表者の
アラバマ州から
その州の町ごとに
がアルファベット
整理されている。
七百万冊の新約聖
れた。赤い縁取り

のされいな給表紙の新約聖書を、懐かしく覚えておられる方も多くはないはずだ。戦後、この新約聖書で、然るとしていた日本人、どれほど新しい思いで生きるか得ることことができたか、計り知れない。このグッドウイル・ブックは、本聖書協会に保存されていたが、一九五九年、戦後五十周年を記念して、上巻をアメリカ大聖書協会が返還し、両聖書協会がそれをぞん存し、聖書普及のために広くお貸したこと、苦難の時にこそ神のとばが必要であるという思いなどのような時に、どのように手にもみこぼを贈る運動の碑とすることにした。

限界のあるものとして生きていく。その時に私どもを支え、導くものがどうしても人間に必要なんです。そういうような形で聖書に向かう時に、力、メッセージがいろんな形で伝わってくる。それを、ただ聖書を贈りましても、また、聖書にはいいことがあります書いてあるんだから、というような感じですと、なかなか達成できないのではないか。なぜそんなに聖書を配らなきやならないのか、というのが日本の社会にはありますね。

ろで、アダムとエバが蛇に誘惑されて、神様から食べてはいけないと言っていた禁断の木の実を食べてしまった、と言うときですね一般に智恵の木の実を食べたと言いますねところが聖書には智恵の木の実とは書いてなくて、善悪を知る木の実と書いてあるんですねだから、そういうようなところをきちんとしてほしい。善悪を知るというのは、同じ生物とは言つても他の生物と人間とでは本質的な違いがある。人間は善悪を知る。日本人の場合その点がどうもはつきりしない。西洋文明

や中国の文化も受け入れて智恵の文化として
はかなりの発展をしたわけですが、善悪を知
る方はあんまりよく考えたことないんじゃない
かなあ。聖書からのメッセージをもつとき
ちつと持つことが、現代の日本で非常に重要
である。それで、さっきからおっしゃられて
いるいろんな紛争地域の場合は、智恵の問題
ではなく、智恵を超えた、人間存在そのもの
が問われている。聖書はまさにそれについて
語ろうとしていると思うんですけどね。

個人的な体験では、もっと悲惨なものの中
クリスマスを迎えてましたね。神の子キリスト
が地上に降りてきたということを聖書が記
そうとしているときに、どういう言葉で記せ
るんだろうか。本来人間が泊まるところでは
い馬小屋に泊まり、本来祝福されて生まれた
赤ん坊が置かれる所が飼い葉桶だった、とい
うことの持っていた意味というものをどう受
け止めるかは、その人のその時の状況の中で
非常に違ってくると思いますね。ですから聖
書の持っているメッセージというのはなかなか
か深い意味を持っているのですね。一人の人
が、自分の人生の問題の中で見い出した一つ
の解釈だけで読むことはできない。非常に深
いものがある。そういうものとして聖書はす
ーと読まれてきた。ルワンダやボスニアの紛
争の中で聖書を読む人が読み取るメッセージ

ジがあると思うんですね。だからそういう意味で、そういう紛争の中で読まれる聖書ってなんかの中で読むのと、また違ったメッセージの意味はそれなりに大きな意味がある。江戸 日本では、聖書から力を得ていく人が増えない。韓国は非常に多い。いろんな批判も多いですが、とにかく聖書に従つて生きている。ところが日本は、聖書は知識人にとっては教養であり、一般にはそういうものがあつても悪くはないけれど、何かを求めるというような切実さもないというふうです。何でも日本人は「まあ、まあ」というような感じでいくのかなと思つてしまふんです。実際はどうなんでしょうね。

隅谷 私はそういうこといろいろ考えているんです。結論的なことだけ申しますと、日本

幸福を求めるというね。

これから聖書協会の世界的な働きとして、は、今世界中にたくさんある紛争地域に聖書をなんとかして届けようということで、日本にも非常に期待されているわけなんですけど、やっぱり資金とか人的にとか、それ以上に関心と祈りというのが求められるんですけど。なかなか私どもの力が足りないという面がありまして、これを皆さんにお伝えするのは困難を感じています。

江戸　よくわかりませんが、人間が人間の限界みたいなものを感じるかどうかということに関係があるのではないかでどうか。科学が進歩すればすべてうまく行くんじゃないかなと考える人たちがかなりいます。人間の力を越えたものが聖書から來ることを実感しつつ

出席者プロフィール



隅谷二喜男
東京大学を退官後、信州大学教授、東京女子大学学長などを歴任。成田空港問題の調停役として昨年和解にこぎつけた。長年日本キリスト教海外医療協力会会長としてアジアのために働く。



江尻美穂子
津田塾大学教授。世界YWCA副会長
として、平和や人権を主なテーマに、環境
などの社会問題の中で考え方、活動を
する。現在、憲法第九条の順守や、元
従軍慰安婦の問題に取り組む。



佐藤邦宏 日本国書協会総主事。在任八年。UB
S・アジア・太平洋地区の常任理事。着
任以来、バイブル・キャンペーンなど
で聖書の普及に努める。募金活動を通
じ海外への積極的な働きを担う。

人は、ある意味では昔から幸福祈願っていうんだと私は思っています。やはり日本のキリスト教も幸福を求めてるんじゃないかな。お祈りするときは祈願だけします。懺悔はほとんどしません。ですから信仰の中にも幸福祈願的なところが入ってくる。あんまり人生の問題を深刻に考えるというような気風が一般的でない。だから教養の一つとして聖書を読んで、そこから何かいい教えなり、いい言葉を身につけようとかします。聖書をどう読むかは、日本のキリスト教会がもつと姿勢をはつきりさせてほしいですね。

戦災、弾圧を乗り越えて

第二次世界大戦中、キリスト教は敵国の宗教ということで、徹底的に弾圧された。苦難の戦争を生きてきたクリスチヤンたちも、今は高齢となっている。その中から、五人に登場していただき、「戦争と聖書」を語つてもらつた。

十五人とともに浸礼を受けた。朝五時半からの早天祈祷会には必ず出席した。「聖書のみ言葉」一つによつて祈っていました。たしかにあのころは、みんな燃えていました。今は、燃える教会が少なくなつたように思います」。

A black and white photograph of Wang Kang, an elderly man with glasses and a patterned jacket, sitting at a desk with books in the background.

（ボーリング強打の中）
太平洋戦争のさなかの一九四二年
（昭和十七年）六月二十六日、ボーリング
リネス教会系の四十人の教職者が、
治安維持法違反で逮捕された。山崎
鶯夫さんもその一人だった。当時沼

橋本生まれの山崎さんは、明治学院をへて東京聖書学院に学び、昭和初期にはホーリネス教会本部で伝道「ホーリネス弾圧の資料を集めておこう」と、戦後まもなく長い時間をかけて全国の体験者尋ね、「一九九〇年、その精密な記録を分厚い本にまとめあげた。『戰時下的ホーリネスの受難—山崎監大編』（新教出版社）である。一渾身の力をこめた」という。

仲山栄一さんはいま八十七歳。東京・日本橋にある栄香料株式会社の代表取締役である。香料をつくる会社を経営して六十年。

か語る「わしたたちの心は燃えていたではないか」という聖句を愛してゐる。

戦争中、仲山さんは出征せず、内地にずっといた。教会活動を守り、聖書に生きた。落合の教会も、近くの自宅も、四五年五月二十六日の大火で空襲で焼けてしまった。「聖書も焼けました」。戦争による悲惨が、今にもじみ出でてくるようだ。

戦後、日黒の今井館で矢内原忠雄の聖書の話を聞き、「み言葉が金銀のように見えるようになった」と回った人である。

太平洋戦争のさなかの一九四二年（昭和十七年）六月二十六日、ホーリネス教会系の四十一年の教職者が治安維持法違反で逮捕された。山崎鶴夫さんもその一人だった。当時沼津の教会の牧師で、その朝早く特高が刑事がどやどやと書斎まで入ってきてきた。牧師だった父親の亨治さんも、東京で逮捕された。「親子で弾圧を受けたのは私たちだけです」。

日本ホーリネス教会の創始者とともに言える中田重治の著「聖書に見たる日本」が説くキリストの再臨が問題となつたようだが、「むりやりに治安維持法にひっかけようとして、結局何もないんですよ。どういうふうに扱つたらいいか、彼らも苦心したようでした」。

●「聖書は焼きませんでした」

田無市在住の上條みどりさんはもう八十九歳である。ここ二、三年、足が弱って、東京・大久保の淀橋教会には行っていない。しかし毎朝五時に起床し、一時間くらいお祈りをしている。「早天祈祷会に合わせてです」。

オルガン、ピアノを愛し、英語に堪能で、第二讃美歌一八二番「丘の上に十字架たつ」は、山崎さんの訳詩である。八十七歳ながらつやのある声で威勢よく歌ってくれた。

めた」という。

リネスの受難—山崎鷺夫編』(新教出版社)である。渾身の力をこめた」という。

仲山栄一さんはいま

日曜日には大久保の教会に出かけていた。「星と夜の弁当を持って行きましたよ」と屈託なく笑う。信州伊那の出身。祖父が牧師で、家で集会を持っていた。もちろん父

嫁の札子さんが「信仰の後継ぎ」という。「私には、ほかに何も継ぐものがない家なので」と、上條さんは謙虚に語った。

島根県江津市に住む多田昌二

A black and white portrait of Shigeo Hashimoto, an elderly man with long, thin grey hair, wearing a dark suit and tie. He is looking slightly to his left.

き、小原牧師が警察に検査された上條さんも同じ教会員ということでも目黒の警察へ呼び出された。「今日限りに教会解散 財産没収。教会への出入りまりかりならぬ」と言われました。そのとき「聖書を持つてきてここで焼いてしまえと言うのです。しかし私は焼きませんでした

「今もその聖書を持っています。」
「毎朝みことばを土台にして起き
上がっていた」という上條さんの面
目が躍如としている。

多田さんは戦後もずっと自宅で聖書集会をつづけ、山陰地方の無教会の大重要な存在となつていった。

東京・麹町の教文館社長の中村治さんは、毎晩八時前から十一時ごろまで店頭に立って、通行客に本を売る。正月は三日から立っています。暖かいときは一晩に百人は超える客がありますね。

そのまま社内に泊まつて、翌日けふ平常通りの仕事をする。教文館とともに生きている人だ。

中村さんがキリスト教と結びついたようになったのは、舞鶴にあった海軍機関学校にいたころだった。(今

A man with glasses and a dark suit jacket is holding a book titled "ARTISTS" in front of a wall of books. The books on the wall also have "ARTISTS" in their titles.

彦民村外

元朝日新聞編集委員

阪神大震災

被災された方々に心からお見舞い申し上げるとともに、なくなられた方々に神様の御願みをお祈りいたします。

一月十七日早朝、震度七の激震が阪神地域を襲いました。当初その被害状況は定かでなく、時を追うごとにその悲惨さが明らかにされていきました。金ヶ崎では大勢の労働者がテレビやラジオの報道にくぎづけとなり、折り重なるように倒壊した密集家屋が焼けていく長田区の災害状況が告げられたときには、みな息をのんで見つめていました。小さなゴム工場や靴工場などが多い貧しいこの地区に、親類や知人を持つ人が何人もいるようです。何とかなんらんのか、助けに行けたらなあ、という声がすぐに上がりました。仕事にアブレフづきで泊まるところも着替えも持たない、野宿を重ねている労働者たちの声でした。

胸を突かれた思いでした。さつそく仲間と相談し、とりあえず動いてみようということで、十九日、いつも三角公園で炊き出しを担っている労働者と居合わせた支援の人たちで、四升炊きで十二釜分のおにぎりを作り、以前いただいて非常用に取つてあつた乾パンを、三台の車に積み込んで長田まで走りました。西宮のあたりから崩れ落ちた家屋が目立ち、道路も波打ってきました。電気が途絶えた真っ暗な町並みを、「緊急救援物資」とはり紙をした無数の車が列をなし、動いては止まり、動いては止まりしながら、黙々とそれぞれの目的地を目指していました。ミニバイクや自転車に一杯荷を積んで救援に向かう人たち、リュックを背負い、水の入ったボリタンクをさげてひたすら歩くボランティアの若者たちも、車のライトに浮かび上がつては消えていきます。なぜか心を動かされます……。

夜十時に金ヶ崎を出て、長田区の災害対策本部となつた区役所に着いたのは夜中の三時。 庁舎の壁も階段もいくつもの大きな亀裂が走っています。床という床は、毛布にくるまつて横になつた避難して来られた人々で埋め尽くされていました。徹夜でつめる職員の方々が、疲れをにじませながらも懸命に対応している姿に接して、なにかホッとするものを感じました。金ヶ崎に帰り着いたのは八時すぎでした。

二十一日、日ごろ金ヶ崎のために支援いただいている奈良のKリースから神戸のために五百枚の清潔な毛布をカンパしていただき、金ヶ崎から有り合わせのストーブいくつかと灯油、それに三角公園での炊き出しの後、皆で握つたおにぎりを三トントラックとライトバンに積んで、ふたたび長田へ。朝六時半、冷たい雨……。遺体が埋まつたままの焼け焦げたかつての住宅街を、道をふさぐ瓦礫をよけながら右に左に走りつつ、怒りと悲しみが噴き上がります。主よ、なぜ……？！

とある公園にいくつものブルーシートのテント小屋がいびつに立ち並んでいるのを見つけて車を停めました。すき間をシーツやビニールのふろしきでふさいだりしてはいますが、風が吹くたびにあおられて雨が吹き込んでいます。ベトナム人の家族、フィリピン人の女性グループ……。区が指定した避難所のことを知らなかつたり、行くのをはばかつた人たちもいるのです。ストーブと灯油は全部ここで降ろしました。でも、灯油を使い切つたら……！

二十五、二十八日は東灘区へ。金ヶ崎日雇労働組合が「尼崎市民救援隊」の一翼を担つて炊き出しを続けている御影小学校に、レンタルしたトラックで水と米を届けました。各教室に避難して来られた四百数十名のほか近くで車などに寝起きされている方々のため、毎日五百食が用意されます。救援物資も十分届いているようでもありませんが、学校側と支援のボランティアと被災者の代表の方たち三者の話し合いが毎晩もたれ、相互の理解と協力のうちにすべてが対処されました。大変な痛みと苦しみの中にも不思議な安らかさとパワーを感じました。やがて地元の人たちだけで持ちこたえられるようにと、みなが協力してすでにその段取りを進めているとのことでした。

問われていることの大きさ、多さに、打ちひしがれます。



本田哲郎 1942年生まれ。フランス語会司祭。
新共同訳旧約聖書、フランス語会訳聖書の翻訳者。
現在、金ヶ崎で活動。

●一千万円緊急特別募金

一月十七日未明に発生しました、兵庫県南部の大地震は、その後阪神大震災と呼ばれ、全国、全世界のレベルで被災地救援募金活動が進められております。日本聖書協会では、被災地に聖書をお贈りするための特別募金活動を実施中です。(総主事室「災害と聖書」参照)

募金目標は一千円です。被災された方々に、命の糧の聖書をお贈りするこの働きをご理解いただき、ご賛同くださいますようお願い申し上げます。(送金先:郵便振替口座〇〇一六〇一二一八四〇〇 日本聖書協会)

●聖書普及運動百二十年

一八七五(明治八年)年、北英國聖書会社が横浜に設置され以来、日本における聖書普及運動は、今

年で百二十年目を迎えました。

その歴史は、教会の宣教活動と軌を一つにし、教会の必要とする聖書をお届けし、「みことば」の普及を大きな目標として、今日にいたつております。一八八七(明

会では、被災地に聖書をお贈りするための特別募金活動を実施中です。(総主事室「災害と聖書」参照)

募金目標は一千円です。被災さ

れた方々に、命の糧の聖書をお贈りするこの働きをご理解いただき、ご賛同くださいますようお願い申し上げます。(送金先:郵便振替口座〇〇一六〇一二一八四〇〇 日本聖書協会)



ハーフ・ボリューム・バイブル

は現在、大好評のうちに頒布して

おります。この聖書は、従来の聖

書二ページ分を一ページに収めま

した。厚みも、重さも従来の二分

の一となり、いつでも、どこで

も持つて行ける「携帯に便利な聖

書」として、求められています。

(B6サイズ/定価二千三百円)

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

無料)、記念公演は六月十五日に大

分文化会館大ホールで曾野綾子氏

の講演と本田路津子氏のコンサ

トが予定されております。(入場へ

●大分バイブルキャンペーン開催

六月十五日から二十日の六日間

にわたり、大分で聖書展が開催さ

れます。「歴史は語りつける」

大分聖書展をテーマに聖書展会

場は市内のトキハ文館二階(入場

読者のひろば

敬称略

私は沖縄県の具志頭村新城に生まれ、6才の時、太平洋戦争に遭遇しました。

戦争末期、私と母は激しい空襲を避けて、ある民家に避難していましたが、そこで突然の米軍の空襲を受けました。爆弾は民家に命中し、100人以上の住民が即死しました。

私の母は瀕死の重傷を負い、3日後に亡くなりました。あの時の苦しみ、悲しみは50年が過ぎた今でも忘れません。

私は母に抱かれていたお陰で命は助かりましたが、爆弾の破片によって、脇腹と右腕を負傷しました。特に右腕からの出血がひどく、全身のしびれと痛みに襲われました。多量の出血のために、喉が渴いて仕方ありませんでした。イエス様が十字架上で語った御言葉「わたしは、かわく」と同じ体験をしました。

右腕の傷は十分な手当ができず、切断することになりました。この戦争で、愛する母親を失い、自らは不自由の身となり絶望の底まで落とされました。

敗戦後、私は小学校に通いましたが、仲間たちから不自由な身体のことでいろいろといじめられました。しかし、神はこのような私を見捨てず、キリストの救いへと導いて下さいました。信仰によって、苦難から祝福へと変えられました。また、キリストの愛によって、心の傷もいやされたのです。(沖縄第一聖潔教会会員)

戦争と信仰

玉那朝春子

伝える者 善き音信 足跡は

青木信吉

私は50年前にコルボーターとして働いておりました。先号に掲載された仲井氏の手記と写真を見て懐かしく懐んでおります。

先輩達は多く天に帰られましたが、ここかしこに働きの実を数える事は嬉しいことです。私も昭和23年に都田恒太郎氏(注:JBS元総主事)のご指導を受けて、北陸三県を歩きました。ここは仏教伝統の某宗のドル箱と呼ばれた土地柄で、キリスト教は強く敬遠されていました。

私はそこで小さな集会を保っていました。その中に珍しくお坊さんが出席されていて、私たちは意気投合し北陸人の気質を教えられました。販売のこつを知るとすぐに、売上実績が向上し始めました。1冊5円の分冊を6冊セットにして、寺を中心に置いて記録帖にサインを貢って(奉賀帖)、これを次の人々に見せると効果的になりました。

戦争が終わると、わたしは「日本もキリスト教の時代ですから、聖書をぜひ読んで下さい。新生の道はこれですよ…」といって勧めました。

その結果、お寺の売上が90パーセントで、その檀家もよく買われました。(元聖書普及員)



一方、日本語の「墨汁」は固体のものを溶かしたものというニュアンスが強いため、ペブル語の原意を正確に表すのに「インク」の方がよりふさわしいと判断されたわけです。

A お答えしましょう。
なぜ、「墨汁」という表現よりも「インク」の方がふさわしいと判断されたか、についてですがこれには三つの理由があります。

まず、この「墨汁」とも「インク」とも訳される個所ですが、ペブル語ではデヨという語が対応します。デヨの語根「pwis」は「ゆつくりと流れれる」という意味で、もともと液状のものを意味しています。

次に、筆記具の点から見ると、当時、用いられていたインクはランプのすすと植物の油から作られたもので、やはり液状のものであったと考えられます。

一方、日本語の「墨汁」は固体のものを溶かしたものというニュアンスが強いため、ペブル語の原意を正確に表すのに「インク」の方がよりふさわしいと判断されたわけです。

今回は、ご献金とともに便りをくださった方の中から何通かをご紹介いたします

感謝！(常陸太田市 菊池崇文)
● 大感謝！！

ソアの「聖書と信仰」について各界の方のエッセーとインタビューはいつも教えてもらえること大です。また、田舎に住んでいる者として、貴重な情報があつて助かっています。
● これからも情報誌としてさらにパワーアップする予定です。ご期待下さい。

受洗してから18年。教会へ行きだしてから20年で、このごろ献金はたとえ、1円、10円でもすべきなんだなと気づきました。
● 告さまの尊いご献金は聖書の普及に確實に役だっております。
同封いただきましたおりのデザイン(霧氷?)はとてもすばらしいと思います。色も美しいですね。
● ありがとうございます。言葉もありません。
新宿区 北脇達夫
(北九州市 杉本光雄)

Q インクか墨汁か？
A 前略。聖書について質問させていただきます。先日伺ななく、エレミヤ書を読んでいたのですが第36章18節で「わたしが巻物にインクで書き記したのです」という箇所をみつけました。確かに、一九五五年改訳には「墨汁」という訳語が用いられていました。「墨汁」と「インク」では随分イメージが異なると思います。
(川越市 高橋潤)



WELCOME TO EPOEE

エポペはフランス語で「美しい冒険」。作家遠藤周作氏の著作「おバカさん」のモデルであるカトリック司祭G・ネラン神父が、サラリーマンとの本音の対話を求めて1980年新宿にオープンし、今年で15年目になりました。(1991年には2号店を開店)

東大・慶應などの大学で学生指導をしてきたネラン神父が次なる宣教の場を考えたとき、「今の日本のサラリーマンには夢がない」「日本人はお酒が入らないと本音が出ない」という言葉から、サラリーマンが集まりやすいということで飲食業を始めたわけです。

当社の定款の第一条に「宣教を目的とした飲食業」とあります。開店以来エポペを通してキリストに出会い、洗礼を受けた方は53名になりました。

エポペはキリストに出会っていただくことを第一の願いとしています。そのためには飲食業のほかにも、セミナー・スタディーツアーなども企画、主催しており、「マザー・テレサの家を訪ねて」と題したインド旅行では施設でボランティアをし、参加者は100名を超みました。

また、昨年クリスマスには「HUMANE INTERNATIONAL NETWORK」というボランティア団体を作り、最初の活動としてルワンダの難民キャンプで救援活動を行っておりました。私たちの小さな活動が「からし種」になることを願ってやみません。エポペを是非のぞいてみませんか？

エポペ 電話 03-3232-8363
エポペ2 電話 03-3358-5589

編集後記

主のみ業に習つて日本聖書協会では普及員を二人、または四人のチームにして各地に派遣した。聖書普及員の宿舎（商人宿）での一日は短い礼拝から始まる。そろつて食事をし、それぞれ担当の地に出かける。夕食も全員そろつてからいだらく。

それから、一日の働きの報告（日報）を銀座の事務所にて書き、明日の頒布の用意をして一日が終わる。普及員の仕事は戸別訪問による頒布である。非常に気を遣う。何年たつても一日の最初の一軒は気が重い。先輩に聞いてみたら、「皆同じだよ。家の前で一言祈つてから入るんだ」そうである。私は訪問すると必ず聖書を示した。

『酒は人をあざける者とし、濃い酒は人をあばれ者とする、これに迷惑される者は無知である。』

（箴言二〇・一）北海道の様似町を頒布している時、ある家のご主人から酒談義を聞くことになってしまった。私は頃合いを見て箴言を開いて読んだところ、奥さんが「あなたの負けね」と言って三十円出してくださった。聖書自身が働いてくださいたのである。随分いろいろな人に出会つてしまつた。私は頃合いを見て箴言を開いて読んだところ、奥さんが「あなたの負けね」と求め

「ハイハイ、どこの神様も同じですよ」と求めた聖書を神棚に上げてしまう人。

「なぜ、食いかねているわしらの所にこんな物を売りくるのか」と、食つてかかる人。

「おれ、この本を読むから三十円だしてくれ」と奥さんに言うと「どうせ読みやしないやめとき」「読む」「読まない」「読む」「読まない」で、ついに読まないほうが勝つてしまった。



民家を一軒一軒訪問して聖書を頒布する。1951（昭和26）年頃。

歴史 接写

仲井一雄——コルポーターの一 日

日本聖書協会元職員

仲井

一雄

コルポーター

の一日



マルティン・ルターの宗教改革は聖書翻訳においても行われた。特權階級のものしかなかった聖書を、民衆の手に与えることを願ったルターは、ドイツ語に聖書を翻訳する決意をした。ルターの翻訳は、単に原典の文字をドイツ語に移すだけでなく、聖書の深い意味をつかみ出すことでもあった。だからこそ、なんどの心をも動かしたのである。

ルターはワルトブルク城で、新約聖書をわずか10週間で翻訳して1522年に出版した（「9月聖書」）。旧約聖書は12年後に翻訳が完了し、1534年に旧新約聖書がヴィッテンベルクで出版された。

阪神大震災で被災された多くの方々や教会の上に神様の慰めと励ましが、そして一日も早い復興がなされますようにお祈り致します。

今年は戦後五十年目、「ソア」で

は戦争という非常に悲惨なことの中で、信仰をもって生きてこられた方々の体験や、戦後すぐ荒廃の日本にアメリカから聖書が贈られた事実などを「特集」で取り上げました。

筆者は高校生の頃、親子で彈圧にあわれた山崎寧治牧師より当時の迫害の様子を聞いて、キリスト者の証に感動した思い出があります。

今日、いまだ世界には紛争や災害で悲惨な地域がありますが、困難の中で、聖書により人々が励まされ、強められ、平和に過ごすことができるようになると願つものです。（F）

JBS History / Colporteur / Nakai Kazuo

●
ソア 第6号 JUNE 1995
発行・財団法人 日本国聖書協会
104 東京都中央区銀座4-5-1
電話 03-3560-11980
FAX 03-3560-14436
振替 00160-2-18410
表紙イラストレーション＝本邦＝
デザイン＝株式会社デザインコンピュート
写真＝版下リ株式会社アーディット